

お元気ですか

つかじさちの

第802号

日本共産党高知県議会活動報告

2016年5月15日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

フレッシュ便



開設1周年を迎えた 「難病相談支援センター」視察

県議会危機管理文化厚生委員会。県内の出生機関などの調査に行っています。相談員の体制も整った当支援センターで、県民のみなさんに、まだまだ〜



雨のなか、高知地裁に訴状提出行動をする原告や支援者。9日、高知市内



原告は、高知、神奈川、兵庫に住む45人。元乗組員23人で各人にに対し、開示すべき資料を開示しなかった責任(100万円)と国の不作為(被災者救済の放置)の責任(100万円)を問い、損害賠償を請求し

(本旗日報 紙名付より)

ら62年。核実験で被災したアメリカが太平洋・マリアナ諸島ビキニ環礁で1954年3月から5月にかけておこなった水爆実験が、必要資料を隠し、被災者救済を放置してきた責任を問い、被災者救済を求める国家賠償請求訴訟を高知地裁に提訴しました。

提起後に原告らが高知県庁内で記者会見。梶原守光弁護士は「政府はわずかな見舞金でけりをつけたアメリカとの政治決着を優先させ、被災者救済どころか、その調査さえ打ち切った。一国の政府として許すことのできないひどい仕打ちだ。人道的犯罪、国家的犯罪だ。その政府の責任を明らかにしないうちにビキニ事件は終わらない。80代も多く、政府はもう責任逃れをしないほしい」と訴訟の意義を語りました。

ビキニ被ばく国を提訴

元船員ら45人、責任問い賠償請求

高知地裁

なるぽも日記

No 800

山々は、すっかり初夏。大好きな新玉ニンニクも出はじめて、元気をつけて頑張りますね。

ちっぴも片づかないまま二日間を費いやーてしまいました。

迷っているうちに時が過ぎ、残すべきが...

挑戦。衣裳ケースの中には、この冬、全く腕を運でなかった夜類がいっぱい。「捨てるべきが、残すべきが...

私、4、5日の2日間だけお休みを取り、衣替えに挑戦。衣裳ケースの中には、この冬、全く腕を運でなかった夜類がいっぱい。「捨てるべきが、残すべきが...

→知りません。「どんなお悩みでもお気軽に利用していただきたい」とのこと。ご紹介しまあ、

高知難病相談支援センターのご案内

●電話や面談・メールによる各種相談支援
療養生活、病状や介護等の相談をお受けします。

●ピアカウンセリング
患者・家族と対立している相談員が相談をお受けします。

●患者交流会・交流サロン
仲間づくり、情報交換を目的とした患者・家族の交流会などを開催します。

●就労相談・支援
公共職業安定所などの関係機関と連携をとり、必要な相談・援助、情報提供をします。

●講演・研修会の開催
医師等を講師に各種研修会を開催します。

●ピアカウンセラー養成研修
ピアとは「同僚」「仲間」という意味です。同じ経験（同じ病気や生活体験）をしていることで痛みや思いを共有でき、支え合うことができるピアサポーターを養成します。

●出張相談
県内各地は出張し、医療相談及び生活・就労相談を開催します。

●難病に関する情報の提供

電話・面談の相談受付時間

午前9時30分～午後5時15分

難病相談支援員（保健師等）やピアカウンセラー（患者・家族）がいます。

療養や日常生活の悩みや不安などどのようなことでもご相談下さい。

●面談の場合はできるだけご予約下さい。

●相談は無料です。

●秘密は厳守します。

TEL 088-855-6258
FAX 088-855-6257